

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育センターきりと「わくわく」			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数)	43
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 6 月 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と集団療育を通してお子さんひとりひとりの発達を専門職（臨床発達心理士・作業療法士・言語聴覚士）とともに発達を促しています。	専門職のアドバイスを受けながら集団療育に取り入れていいます。	専門職にアドバイスを受け、お子さんひとりひとりにあった療育を提供していきます。
2	地域の環境から事業所外での活動が多くあり、身体を使った活動を取り入れています。	公園での遊びが単一化しないように、遊具や遊び用具を用いて活動をしています。 同じ公園だけではなく、徒歩圏内のさまざまな公園へ出掛けていきます。	活動時間の多くを外活動で占めていますが、室内遊びの充実にも取り組んでいきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休暇時の外出があまり実施できませんでした。	事業所内の集団療育に重点を置きたために外出する機会を作ることができませんでした。 社会参加に向けて検討します。	コロナ前に実施していた外出の機会をさらに作っていきます。
2	お子さんに合わせた高等部以降の生活を見据えた支援を提供できていません。	年齢の低いお子さんもいるため、年齢の高い方たちを中心とした活動になりにくさがあります。	将来を見据えた必要な支援のプログラムを作成・提供していきます。
3			